

令和2年度事業概要報告書

(一社) 宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会

(1) 事業概況

令和2年度は、第9業務年間（1～3年度）の2年目として実施した。

和牛枝肉相場については、昨年度末からの新型コロナウイルスの影響で外食、インバウンド需要が低迷し、枝肉相場は大幅に落ち込んだ。その後、国の和牛肉保管在庫支援緊急対策の実施やインターネット販売など新しい消費形態の増加、輸出の急回復や、内食需要が堅調に推移していることを背景に、年末にかけて大幅に回復した。しかしながら、年明け以降は緊急事態宣言の再発出などによる外食の再低迷で相場は低下傾向になるなど、年間を通じて不安定な年となった。

県内子牛価格についても和牛枝肉と同じく新型コロナウイルスの影響により低迷したものの年末に向けて回復し、現在も一定の高値を維持するなど生産コストの増大が肉用牛肥育農家の経営を圧迫している。

このような中、当協会としては補てん基準価格を第1四半期2, 515円/kg、第2四半期2, 575円/kg、第3四半期2, 623円/kg、第4四半期2, 569円/kgに設定し、和牛肥育農家の経営安定を目指した結果、第1四半期1, 247頭、第2四半期1, 355頭、第3四半期1, 584頭、第4四半期1, 170頭、合計5, 356頭、総額53, 560, 000円の補てん発動を行った。

①補てん準備財産

補てん準備金前期繰越高	4,869,495 円
当期通常積立金	53,260,000 円
当期補てん金	53,560,000 円
当期受入利息	28,279 円
補てん準備金残高	4,597,774 円

②普通財産

事業預け金	61,660,000 円
預り寄託金	61,660,000 円
前年度繰越金	1,964,070 円
当期受入利息	473,294 円
当期事業管理費	446,927 円
残高	1,990,437 円